

ペンク A.R. PENCK



三苗腹家もぐもぐ

一九三九年十月五日、ラルフ・
ヴァインクラー（A.R.ペンク）は、
ドイツ東部のドレスデンに生
まれた。



母と祖父は教師。家にはピアノ、
やギターがあったが、美術に親し
む機会はなかった。



ツァンカ-官殿
の写真→

若い頃から、ヘーゲル、カント、レーニン、
スターリンを読み、自然科学や
万物の起源の探究に興味を持つ
ようになる。

第二次世界大戦中の一九四五年
二月十三日から十五日にかけて
ドレスデンを連合軍による
爆撃が行われ、



燃える街を見る。

七才の時に、母と訪れたビルニッツ宮殿で、
アルノルト・ベックリンの《戦争》（一八九六年）
に感銘を受ける。



まるで燃える
ドレスデン



アルブレヒト・デュラーの
《騎馬と死と悪魔》（1513-14）にも

街の大部分は破壊され、大きな空地が
生まれ、その中で遊ぶ。



ホラーやSF映画
みたい！

一九四五年五月、ドイツは無条件降伏
し、ドレスデンはソ連占領地となり、
一九四九年に建国された社会主義国、
ドイツ民主共和国（東ドイツ）の一都市
となった。

十才で最初の油絵を描く。



風景画



祖父の肖像画

ちなみに当時、東ドイツでは、
労働などのテーマを写実的に
描く社会主義リアリズムが
推奨されていた。